

民間10社初選定

県 育休支援や柔軟勤務評価



業に、岡山、倉敷など4市の計10社を選んだと発表した。育児休業取得者と同僚への現金支給や柔軟な勤務時間の導入といった先進的かつ実効性の高い取り組みを評価した。優良事例として横展開を図り、結婚・出

産や子育てを応援する機運の盛り上げにつなげる。

の区分も設けた。



女性社員が職場に連れてきた子どもを見守る同僚。こうした取り組みが「おかやま子育てしやすい職場アワード」に選ばれた(行雲提供)

1万円を支給するユニークな取り組みが評価された。県は少子化対策を県政の最重要課題と位置付けており、2024年度は企業との連携をキーワードに、アワードの新設を含めた関連事業を展開。アワードには109社から応募があり、伊原木隆太知事や県内経済団体の代表らが審査した。

2月に岡山市内で表彰式を行い、奨励金100万円を贈る。今後、県のホームページで紹介する一方、事例集を作って周知を進め

岡山県は20日、従業員の育児支援に積極的な県内の民間企業を顕彰する第1回「おかやま子育てしやすい職場アワード」の受賞企業301人以上)や特別賞

福祉・卸売・小売、運輸・郵便・建設、宿泊・飲食・サービスといった業種ごとに選定。大規模企業(従業員301人以上)や特別賞

醸造機械製造のフジワラテクノアート(岡山市)は企業主導型保育所との提携や子ども参加のイベントといった幅広い支援策を展開。倉敷市美観地区で飲食

人ホームを運営する津山福祉会(津山市)は53通りの勤務形態から職員が勤務時間や日数を選べる仕組みを導入。化学品製造のナガオ

「各企業の状況に応じた取り組みが県全域に広がるよう、優れた事例をさまざま場面でPRしたい」と述べた。(川中満仁)

「おかやま子育てしやすい職場アワード」受賞企業と主な取り組み

業種区分	企業名	主な取り組み
製造	フジワラテクノアート(岡山市)	企業主導型保育所との提携や子どもと参加できる社内イベントの開催
医療・福祉	津山福祉会(津山市)	53通りの勤務形態から自分で働く時間帯や日数を選び、子連れ出勤も可能
卸売・小売	三協鋳螺(玉野市)	残業を原則禁止し、従来の残業代を給料に上乗せ
運輸・郵便・建設	カスケホーム(倉敷市)	必要に応じて勤務時間を短縮できる「短時間正社員制度」を導入
宿泊・飲食・サービス	行雲(倉敷市)	育休中や復職後に子どもを会社に連れてくることを推奨
その他業種	NICS(玉野市)	指定施設で託児サービスを利用した際に費用を補助
大規模企業	中国銀行(岡山市)	月間の総労働時間で勤務時間を自主的に決定でき、必ず働く時間帯「コアタイム」がない
特別賞(製造)	ナガオ(岡山市)	育休取得者に10万円を支給するとともに、社員全員に1万円を払う
特別賞(医療・福祉)	自由会(岡山市)	不妊治療支援として1日1万円、年間12万円まで補助し、年間10日取得できる特別休暇も設定
特別賞(その他業種)	セリオ(岡山市)	妊活などを理由とした2年間の特別休職制度や退職後5年間は再就職が可能な再雇用制度を導入

岡山県は「子どもまんなか職場づくり」と銘打ったシンポジウムを2月8日、岡山市北区柳町の山陽新聞社さん太ホールで開く。県内の企業経営者や管理職らの参加を想定し、従業員の子育て支援に前向きに取り組む機運を高めようとして企画した。

リクルート(東京)の調査研究機関「ジョブズリサーチセンター」の宇佐川邦子センター長が基調講演で、結婚・出産や子育てがしやすい職場環境の「離職を防げる」「採用時の強みになる」といったメリットを紹介。県が新設した「おかやま子育てしやすい職場アワード」受賞企業による事例紹介、

2月に事例紹介シンポ岡山

伊原木隆太知事らと交えたパネル討論もある。

県子ども未来課は「企業ごとにマッチする取り組みがあるはず。効果的な事例を県内全域に広げていきたい」としている。

午後1時半〜4時半。参加無料。シンポはオンラインでも同時配信し、定員は会場、オンラインいずれも先着100人。2月3日までに県ホームページの専用フォームかファクス、メールで申し込む。問い合わせは事業委託先の県中小企業団体中央会(086-224-2245)。(信定佑紀)